

▷地域に入り、地域の人々とふれ合い、活動していく中でたくましくなった学生たちの様子を写真にてご紹介します。大津エンパワメントの実習に興味のある学生も必見です★



①自治会活動を知る (10/2・9) 地域の各団体の代表からお話を聞きました。②まちあるき (10/9) ③自分の興味のあるテーマ・関心を見つけ出し、関心の似ている人を探して一緒に活動をする仲間を作りました。(10/16) ④各グループの実習先での様子。

実習 I を終えて...

2期生の皆さんは、「大津エンパワメント」1期生の先輩たちが築いてきた成果をきちんと受け止め、真摯に「実習 I」に取り組んでこられたように感じました。「地域づくりとは何なのか」という点について、さらに自分たちの考えを深めながら、「実習 II」にチャレンジしてほしいと思います。

脇田

「実習 I」を終えた学生の皆さん、ご苦労様でした。実習中は不安や辛い思いが多かったでしょうが、地域の人たちと共に活動して、人との触れ合いの素晴らしさや達成感を抱いているのではないのでしょうか。実習 II では、同じ活動を継続して、地域の方々と触れ合いを深め、さらに地域活性化に取り組んでください。

金子

2期生は、1期生の活動状況や成果を見ているので、実習に取り組みやすかった反面、プレッシャーも大きかったかもしれません。でも、各チーム、1期生の活動に学びそれを踏襲しつつ、また新たな視点での取り組みができたように思います。この約半年の「頑張り」を誇りにして下さい!

筒井

実習 I 受講生がたくましく成長していく姿を見守り、指導をしておられた実習担当の先生からお聞きしました!!

築地

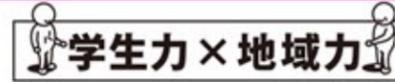
3年間の区切りにふさわしい、真剣な雰囲気のあるフォーラムになりました。実習 II に進む諸君にとって強い刺激となったことでしょう。まちづくりは、地域の皆さんにとってはエンドレスな生活そのものです。きれいなイベントを仕上げて自己満足、とならないよう、今一度足許を見つめてください。



大津エンパワメント通信



〒520-2194
滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5 龍谷大学瀬田キャンパス内
大津エンパワメントオフィス(2-202教室)
TEL:077-543-7691 FAX:077-543-7615
E-mail:shakaigp@ad.ryukoku.ac.jp
【ホームページ】http://www.soc.ryukoku.ac.jp/gp/index.html



そこから何が生まれたか?

—「大津エンパワメント」の3年をふりかえる—

2010年2月27日(土) | ピアザ淡海
大会議室
午後1時15分～午後4時30分(午後0時45分開場)

■基調講演
食のたのしみ街のよろこび

講師:熊谷真菜氏
(日本コナモン協会 会長)



■インタビューセッション
私から見た「大津エンパワメント」

熊谷真菜氏(聞き手) × 学生たち
所 健司(地域福祉学科2回生)
南條 麻衣子(社会学科2回生)

■トークセッション
「大津エンパワメント」とは?

聞き手:森川 穂氏(滋賀県立大学 人間文化学部生活デザイン学科 准教授)
登壇者:連 秀子氏(瀬田東地区民生委員児童委員協議会)、
白井 勝好氏(NPO 法人大津曳山連盟)、高野 早人氏(大津市都市再生課)
平泉 昌輝(臨床福祉学科3回生)、大和 雅子(社会学科3回生)
脇田 健一(社会学科教授 実習担当教員)



トークセッションの様子



学生と記念撮影(中央 熊谷氏)

2月27日に行われた「大津エンパワメント 第3回フォーラム」。

基調講演は「日本コナモン協会」会



長の熊谷真菜さんにしていただきました。熊谷さんが大学生時代に、先生方やご友人たちに励まされながら「現場

での学び」を始められたことの話からはじまり、その学びの



講演前の打ち合わせの様子。わきあいあいととっても楽しそうでした。

結果として世界が広がり、現在のご自身の活動に至ったことが親しみやすい口調で語られました。

引き続き、熊谷さんに聞き手になってもらっての2回生



インタビューセッションの様子。

(エンパワメント 2期生) 2人へのインタビューが行われました。先輩たちの活動成果を引き継いで自分たちなりに発展させようという気持ちや、活動することで意識の変化がおこったことに自ら



驚いている様子が、学生の口から素直に語られました。





後半は、学生（エンパワねっと1期生。3回生2人）、地域の方、行政の方、担当教員によるパネルディスカッション。それぞれが自分の



立場から見た「大津エンパワねっと」を真剣に語り、その上で話の内容が有機的に重なり、深い議論がされました。学生は「エンパワねっと」マインドの重要性を深く認識した上で「この活動が、370年の伝統のある龍大の新しいウリになるようにしていきたい」と語り、地域の方も「この取り組みが、地域の中でもさらに広がるようにしていきたい」と語り、行政の方は「地域力と学生力がともに高まるようにできる限りのサポートをしたい」と語り、教員は「エンパワねっとが

大津だけでなく、京都でも大阪でも神戸でもと各地で行われるようになってほしい」と語り・・・、パネルディスカッションは名言にあふれたものになりました。

フォーラムがおわってから熊谷真菜さんは私に「こんなに充実した、そして気持ちのいいシンポジウムやフォーラムはめったにないよ。みなさんの思いを共有・共感できて、本当にうれしい」といわれました。その気持ちは、参加者全員のものだと思います。

(推進委員 工藤保則)

●フォーラムに参加して●

【一般の方】

・徐々に地域にエンパワが認知されはじめてきたと思う。地域においてもリーダーがもっと前向きに学生さんを受け入れて行くように努力しなければならないと思いました。

・熊谷さんの話に興味をもった。全国的に展開し体験しているところから見た大津の魅力について提言していただき今後のまちづくりに参考になった。

・学生の皆さんが生き生きと話をしていました。と嬉しそうでした。これからもがんばってもらえたらなと思います。卒業した人も後輩が頑張ってくれたら安心します。

【一般学生】

・次に実際に自分が関わって行くときにどうしたら良かが少し見えてきた気がしました。



会場外では各グループの活動報告ポスターを展示しました



延べ約100名のみなさんにご来場いただきました。



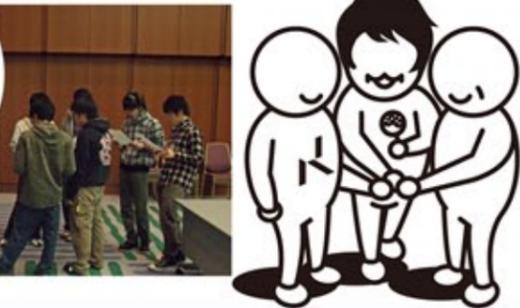
メモを取る学生さん。フォーラム内容をぜひ実習IIで活かしてください!!



開演前には登壇者で打ち合わせが行われました。



舞台配置や会場設営なども学生さんで...



TOPICS

報告会

実習 I

前日...



模造紙づくりにPPT発表のリハーサル。ラストスパートです。



瀬田東市民センターで前日準備をする学生



当日準備も自分たちで!

お世話になった地域の方への挨拶も忘れずに!



発表は去年と同様にポスターをみてまわり、その場で質疑応答を行うポスターセッション形式です。



1期生の先輩も見に来てくれました。

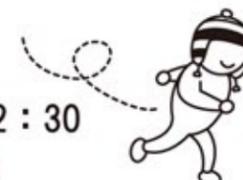
代表チーム発表

【中央：C02】 各地区2団体ずつ 計5チームが発表しました

地域エンパワねっと実習 I

合同報告会

2010年1月30日(土) 9:30-12:30
瀬田東市民センター 大会議室



世代と地域の絆をこえた交流による地域活性化

【中央：C01】



参加機会を情報発信で提供!

【瀬田東：s01】



次世代を担う子ども達の育成に携わって

【瀬田東：s03】



新たな街、新たな出会い、ローズベイガーデン

【瀬田東：s04】



世代間交流 ~序章 まず横のつながりにも目をむけよう~



「知る」「見つける」「共有する」というエンパワの基本がしっかりできた発表だと思いました。実習IIでは参加だけでなく主催者側の立場に立って活動していただけたらより深まると思います。(中央・岩佐さん)



2期生ということもあり地域の課題解決に着手するのがより早くなったように感じます。今後は瀬田と中央と交流でできる何かを考えていけたら良いと思います。(瀬田東・深田さん)

たとえば一言に「世代間交流」といってもそれぞれの地域で課題は異なっている。もう少し深めたテーマ設定ができたらもっとよいと思います。まずその町の地域の良い点を知ってほしいと思います。(瀬田東・高橋さん)



アンケートより

- 単に手伝いをするのではなく共同事業者としてかわり自らの学習に役立てれば良いと思います。サークル、ゼミの活動に町家を利用して共同事業者として協力関係ができればとおもいます。
- 大津エンパワねっとに対し地域住民がもっと多く参加すべきと反省しております。今後ともよろしくお願いたします。
- エンパワ1期生ができなかったこと、学生の立場、学生らしい取り組みをどんどん突き進んでほしい。期待しています。
- 地域で活用継続が必要だと思いますので、イベント的な介入ではなく何かの形で続けていただければと思います。

短期間で立派な報告ができています。地域との「きづな」「つながり」を大切に若い力を地域で発散させていただきたいです。(中央・酒井さん)

